

No	履修学科	履修年次	選択群	必修科目	共通テスト範囲	第三種電気主任技術者
81	全学科	1	芸術必修履修選択群	○		

教科名	科目名	単位数	履修条件						
芸術	音楽 I	2	なし						
教科書	音楽 I Tutti+ (教育出版)	教材	Music Note						
科目の目標	音楽の幅広い活動を通し、音楽的な見方や考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する事を目指す。								
観点	① 知識・技能(技術)	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度						
評価規準	曲想や音楽の構造、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	音楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫する。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行い、その中で自ら学習を調整しようとする態度。						
評価方法	実技試験 筆記試験	実技試験	各分野での自主的、協働的な取り組み。 課題解決のための工夫と調整。						
授業におけるICTの活用方法	授業での連絡事項や、授業評価アンケートなどをタブレット端末で確認してください。								
富良野高校の身に付けさせたい資質・能力 (グラデュエーション・ポリシー)									
①基礎力	②思考力	③表現・発信力	④課題発見解決力	⑤自己・他者理解力	⑥自律的活動力	⑦知識・技術力	⑧創造力	⑨人間関係形成力	⑩コミュニケーション力
	○	◎	○	○					○
履修者への連絡事項	器楽分野でリコーダーを使用します。小学校や中学校で使った物で良いので用意してください。リコーダーが無い人は購入してください。								

### <授業内容の概要・進め方・ポイント>

歌唱(独唱)・器楽・楽典を中心に授業を進めていきます。歌唱や器楽については、楽譜に書かれている内容を理解し、曲にふさわしい発声や音色を身に付け、音楽的表現をすることに重点が置かれます。楽典は基本的な音楽理論ですのでしっかりと理解しましょう。

### <家庭学習のアドバイス>

楽典は Music Note を使って復習しましょう。理解できないところがあれば先生に聞きましょう。実技についての練習は、家族や近所の方に迷惑にならないよう注意しながら適に行ってください。

### <科目選択のアドバイス>

音楽 I、美術 I、書道 I の 3 科目から興味・関心によって、高校入学時に選択します。歌うのが好き、絵を描きたい、書道を習っていた等、選択の理由は問いません。生涯に渡って芸術に親しんでいける科目を選んでください。選択した芸術科目で 2 年次以降の芸術 II の科目を選択することができます。

No	履修学科	履修年次	選択群	必修科目	共通テスト範囲	第三種電気主任技術者
88	全学科	1	芸術必修履修選択群	○		

教科名	科目名	単位数	履修条件						
芸術	美術 I	2	なし						
教科書	高校生の美術 I (日本文教出版)		教材						
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解する。								
観点	① 知識・技能(技術)	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度						
評価規準	・美術の幅広い活動における到達すべき技能が身についているか。 ・材料・用具を生かし、表現方法を工夫し、創造的に表しているか。	・課題を取り組みに当たり、独自性を持った視点で分析し表現しようとしているか。 ・主題を生み出し、豊かに発想・構想を寝ることができるか。	・課題解決に向け、意欲的に取り組んでいるか ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に学習活動に取り組んでいるか。						
評価方法	ワークシート 追求態度 提出 作品 制作時の技術観察 追求 過程作品	ワークシート 追求態度 提出 作品 制作時の技術観察 追求 過程作品	ワークシート 追求態度 提出 作品 制作時の技術観察 追求 過程作品						
授業におけるICTの活用方法	授業評価アンケートやインターネットで調べたりする際に活用します。								
富良野高校の身に付けさせたい資質・能力 (グラデュエーション・ポリシー)									
①基礎力	②思考力	③表現・発信力	④課題発見解決力	⑤自己・他者理解力	⑥自律的活動力	⑦知識・技術力	⑧創造力	⑨人間関係形成力	⑩コミュニケーション力
○	○	○	○	○	○				
履修者への連絡事項	選択した場合、教科書とは別に 6,000 円程度の教材費や道具代がかかります。								

### <授業内容の概要・進め方・ポイント>

静物画、人物画、やアクリルを用いての作品制作等を行います。全体で、課題の説明を行い、個人制作に移ります。独自性のある視点で興味を深めることができるように、制限の多い課題にならないように配慮します。

### <家庭学習のアドバイス>

特に家庭学習は、必要ありませんが、時間内にできなかった課題に取り組んでもらうこともあります。

### <科目選択のアドバイス>

音楽 I、美術 I、書道 I の 3 科目から興味・関心によって、高校入学時に選択します。歌うのが好き、絵を描きたい、書道を習っていた等、選択の理由は問いません。生涯に渡って芸術に親しんでいける科目を選んでください。選択した芸術科目で 2 年次以降の芸術 II の科目を選択することができます。

No	履修学科	履修年次	選択群	必履修科目	共通テスト範囲	第三種電気主任技術者
92	全学科	1	芸術必履修選択群			

教科名	科目名	単位数	履修条件						
芸術	書道 I	2	なし						
教科書	書道 I (教育出版)	教材	墨心 (教育出版)						
科目の目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。								
観点	① 知識・技能(技術)	② 思考・判断・表現		③ 主体的に学習に取り組む態度					
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。</li> <li>・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ、表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書によさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に書の表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</li> </ul>					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追求過程作品</li> <li>・追求過程作品枚数</li> <li>・執筆の様子</li> <li>・提出作品</li> <li>・追求態度</li> <li>・発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追求過程作品</li> <li>・追求過程作品枚数</li> <li>・執筆の様子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品</li> <li>・追求態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追求過程作品</li> <li>・追求過程作品枚数</li> <li>・執筆の様子</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品</li> <li>・追求態度</li> </ul>				
授業における ICT の活用方法	授業での連絡事項や、授業評価アンケートなどをタブレット端末で確認してください。								
富良野高校の身に付けさせたい資質・能力 (グラデュエーション・ポリシー)									
①基礎力	②思考力	③表現・発信力	④課題発見解決力	⑤自己・他者理解力	⑥自律的活動力	⑦知識・技術力	⑧創造力	⑨人間関係形成力	⑩コミュニケーション力
◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○
履修者への連絡事項									

### <授業内容の概要・進め方・ポイント>

書道実技を中心として、鑑賞やワークシート等の作業も並行して取り組みます。実技は、漢字・仮名・漢字仮名交じりの書について基礎的なことを中心に取り組みます。

### <家庭学習のアドバイス>

日常における文字を書く全ての機会において、常に丁寧に書く意識を持ち、上達するように心がけましょう。

### <科目選択のアドバイス>

音楽 I、美術 I、書道 I の 3 科目から興味・関心によって、高校入学時に選択します。歌うのが好き、絵を描きたい、書道を習っていた等、選択の理由は問いません。生涯に渡って芸術に親しんでいける科目を選んでください。選択した芸術科目で 2 年次以降の芸術 II の科目を選択することができます。